

# 令和4年度 自己評価結果公表シート

富高幼稚園

## 1. 幼稚園の教育目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園の目標 子供の「自立」と「共生」の心を育む</li> <li>○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める</li> </ul>
--

## 2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

<p>重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育活動の充実に努める。</li> <li>2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。</li> <li>3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。</li> <li>4. 安心して安全な幼稚園を保障するための取り組みに努める。</li> <li>5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。</li> <li>6. 地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。</li> </ol>
---

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	B	主体性保育の観点から大きな行事の見直しを行ってきた。年齢により偏りはあるが、昨年度よりも園児主体の行事が行えたと感じる。
(2)道徳指導等の充実	A	クラスの担当の枠を超えて、どの職員も個に応じた適切な働きかけが出来るよう、共通理解を徹底した。必要があれば積極的に家庭との連携をとり、早めの対応を心掛けてきた。
(3)基本的な生活習慣	B	家庭環境に配慮した継続的かつ丁寧な指導を行う為、乳児クラスで積極的にチーム保育を取り入れてきた。少人数での保育が基本的な生活習慣の習得や、主体的な生活に繋がっていると感じられる。
(4)安心して安全な幼稚園	A	終礼等により事故報告を徹底し、継続的に全職員の危機意識の向上に努めた。同時に、園生活の中で、子ども自らが安全な遊びや生活への意識を育んでいく為、環境の調整を行うべき部分がある。
(5)小学校との連携	A	コロナ禍により子ども同士の交流は必要最低限となった。年度末ではあったが、近隣小学校と、支援学校の職員を交えて連携の仕方について話し合いを持つ事が出来、次年度からの連携に期待が持てる。
(6)豊かな交流体験の充実	A	様々な制限がある中、前に行っていた交流体験から、ハンギングバスケットなど職員により受け継ぎ、豊かな体験を継続的にしている。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	子ども自身が試行錯誤し、心動かされながら成長していく環境を常々考えて取り組んで来た。日々の保育や行事等において、昨年度から発展はしているものの、取り組めたはずの環境の調整、十分な保育の検討において課題が残る。保護者との連携においても、保育の意図の発信や、家庭環境の把握など、まだ出来る事が残された1年となった。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

## 5. 今後取り組むべき課題

評価項目	課題と具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	預かり保育まで見通した1日の保育を総合的に考え、預かり保育のあり方について研究を深めていきたい。
(2)道徳指導等の充実	個に応じた対応を行う為、継続的に職員間の共通理解を行っていく。視覚的教材等も個に応じた効果的な使用方法を模索していきたい。
(3)基本的な生活習慣	保護者への発信、保護者との繋がりをより意識し、共通の目標に向かって教育・保育ができるようにしていきたい。
(4)安心して安全な幼稚園	子ども自身の安全な遊びや生活への意識が育まれるよう、環境の調整や工夫を行っていきたい。
(5)小学校との連携	小学校・支援学校との繋がりを継続的なものにする為、双方にとって有効で効果的な方法を模索していきたい。
(6)豊かな交流体験の充実	コロナ禍により学んだ事を活かしながら、積極的に交流体験の機会を増やしていきたい。